

# 発達障害の理解と支援

日時

2020年  
3月20日(祝・金) 13:00-16:30 (12:30受付開始)

対象

臨床心理士、公認心理師、医療・福祉・教育・産業・司法のメンタルヘルスに従事されている専門家、心理学を学ぶ大学生・大学院生

定員

400名 (定員になり次第締め切り)

参加費

1,000円 (資料代)

会場

法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート G403教室

東京都千代田区富士見2-17-1 <http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>

申込み

事前登録制 3月12日(木) 締切 裏面の申し込み用紙にてFAXまたはE-mail

## <プログラム>

司会：久保田幹子 (法政大学大学院人間社会研究科臨床心理専攻 教授)

基調講演 発達性トラウマ障害への治療

～C-PTSDへの簡易型トラウマ処理～

杉山登志郎 氏 (福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授)  
(浜松医科大学児童青年期精神医学講座 客員教授)

講演 発達障害支援に対する森田療法の活用

～「あるがまま」の観点から～

松浦隆信 氏 (日本大学文理学部心理学科 准教授)

## ミニシンポ&ディスカッション

### ■杉山登志郎 氏

1951年 静岡市生まれ1976年久留米大学医学部卒業 同小児科学教室入局 1978年名古屋大学医学部精神医学教室入局 1980年 静岡県立病院養心荘勤務 1983年 愛知県心身障害者コロニー中央病院精神科医長 1986-87年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校神経精神医学研究所留学 自閉症の研究に従事、またこの間にユング派分析家シュピーゲルマン博士より教育分析を受ける 1989年名古屋大学医学部精神科助手1995年 静岡大学教育学部教授 2001年 あいち小児保健医療総合センター 保健センター長兼心療科部長(2004年～2008年 金沢大学医学部客員教授) 2010年 浜松医科大学児童青年期精神医学講座 特任教授 2016年 浜松医科大学児童青年期精神医学講座 客員教授 浜松市子どものこころの診療所顧問 2017年 福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 専門：児童青年精神医学 学位：医学博士(名古屋大学) 役職：日本子ども虐待防止学会代議員、日本子ども虐待防止医学会代議員 著書：発達障害の豊かな世界(日本評論社) 子ども虐待という第4の発達障害(学研) 発達障害の子どもたち(講談社現代新書) 発達障害のいま(講談社現代新書) ギフテッド(学研) 杉山登志郎著作集 全3巻(日本評論社) 子育てで一番大切なこと(講談社現代新書) 発達性トラウマ障害と複雑性PTSDの治療(誠信書房) 他



### ■松浦隆信 氏

日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程修了、博士(心理学)。立正大学心理学部特任講師、鹿児島大学大学院臨床心理学研究科准教授を経て2018年度より現職。日本森田療法学会研修委員および編集委員。専門は、森田療法、不安の発生メカニズムと支援法に関する実証研究。2014年、日本森田療法学会奨励賞受賞。『不安の発生要因と介入モデルに関する臨床社会心理学的検討』(2014年風間書房)、『自閉症スペクトラム障害に対する森田療法の活用可能性の検討—森田療法の間観に基づく進路選択の支援を通じて—』(2013年日本森田療法学会雑誌24巻2号)など。





